

軸組の家

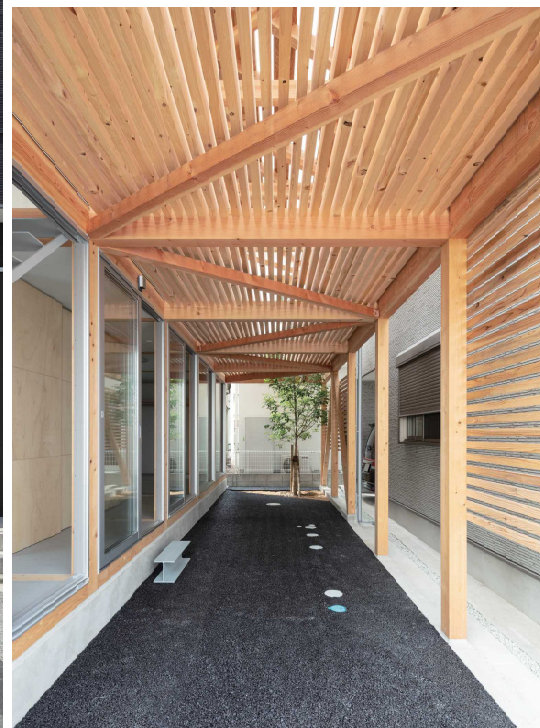


構造: 木造軸組工法 階数: 地上2階建 用途: 住宅
敷地面積: 59.97㎡ 建築面積: 46.04㎡ 延床面積: 69.06㎡

約6Mの開口いっぱいに入った軸組を真ん中から2つに分け、屋内空間と、生活を豊かにする半屋外空間とした。あらかしとした柱や土台には兵庫県産の檜材を使用している



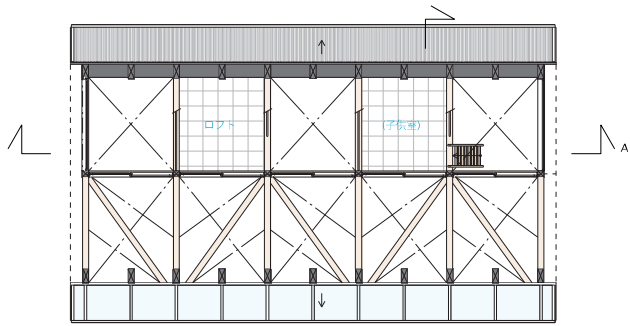
1階から伸びる樹木が住宅密集地の中に彩りを添える。2階テラスの床、目隠しを兼ねたルーバーも兵庫県産の檜材を使用。木目を生かした塗装(木肌美人・クリア)は経年変化も楽しめる



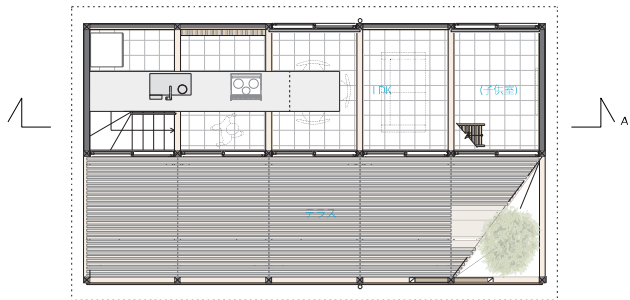
2階テラス床を格子とすることで1階にも採光と通風が得られる



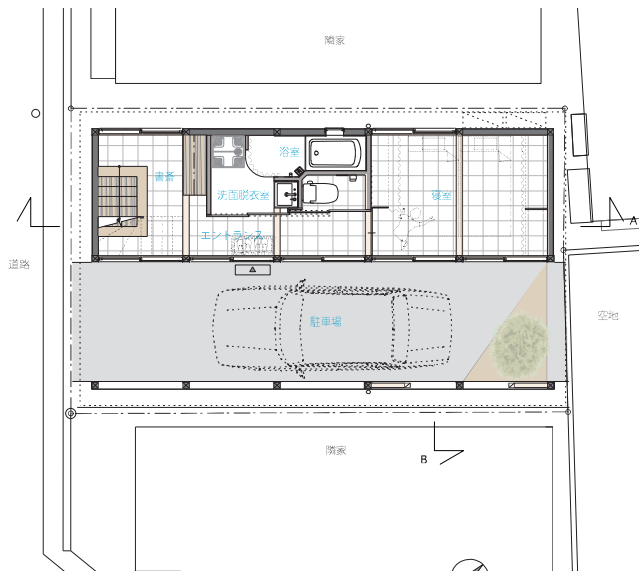
夜になると軸組や格子が室内の明かりで美しく照らされる



ロフト階平面図 1/100



2階平面図 1/100



配置図兼1階平面図 1/100

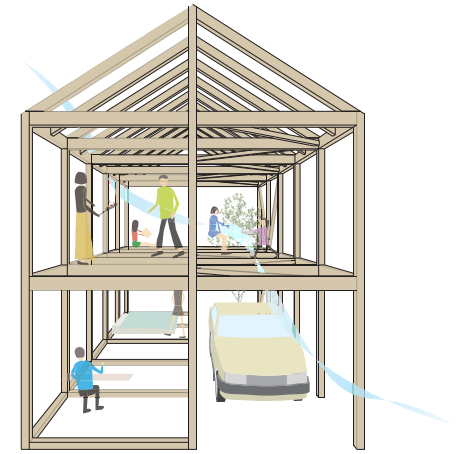
設計趣旨

兵庫県姫路市にあるJR姫路駅からほど近い敷地で、周辺には店舗や住宅だけでなく工場などが多く建て込んだ地域である。間口は約6Mのいわゆる「狭の裡床」である。まず敷地いっぱいにて木造の軸組を造り、約6Mの間口を2等分し、奥行き方向に細長い2つのスペースをプランニングしている。東側半分を屋内空間とし、西側半分を半屋外空間として生活を豊かにするパッファーゾーンとした。半屋外空間は通りに面して開放的にすることで、屋内空間と通りをつなぐインターフェースとなる。1階の半屋外空間は駐車場・駐輪場と小さな庭を配置した。庭は小さな庭に直し、書斎スペースはお気に入りの車を横目に通りの気配も感じることができる。2階の半屋外空間は大きなテラスとして、キッチン横のガーデニングスペースやリビング横のアウトドアリビングとして屋内空間を拡張する。半屋外空間の屋根は野地板のスキマにグラデーションを持たせることで、屋内への日射所得をコントロールしている。2階テラスの床も格子状にすることで1階への採光だけでなく、1・2階をつなぐインターフェースにもなる。またコストコントロールのため、アルミサッシの既製サイズに合わせて木造の軸組を設計し、シンプルな構造設計としたことで、2階の一部とロフトは将来の子供部屋とする計画であるが、手狭であれば比較的容易にパッファーゾーンへの増築も可能である。コンパクトな住まいでありながら、隣の外壁や通りまで空間が拡張し、駅に近い近隣商業地域の狭小地ではあるが、自然の太陽や風を感じることで豊かな暮らしが可能となった。

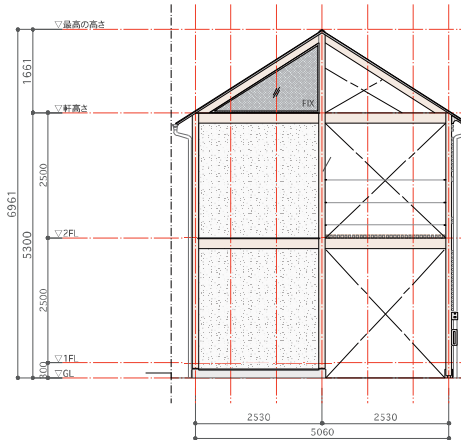
使用木材について

土台・柱・格子部分に兵庫県産の杉・杉を使用している。あらかしとすることで無機質な住宅密集地に木のあたたかみを与えている。また、クリアの木材保護塗料(木肌美人)で仕上げているため木そのものの風合いが生き、経年変化を楽しめる。

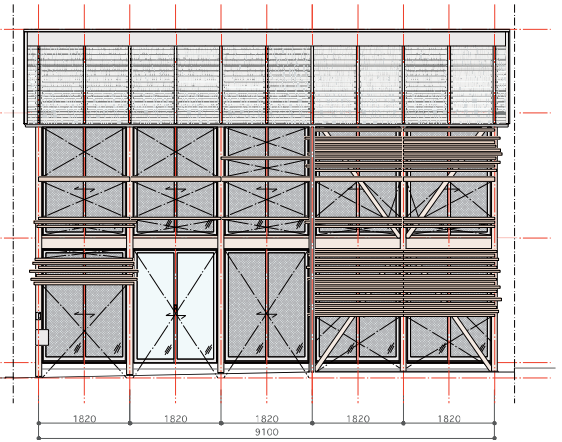
竣工して5年が経とうとしているが、竣工時よりさらに木の深みが増し、今後も住む人と共に年月を重ね、変化していく楽しみのある住宅になったと思う。



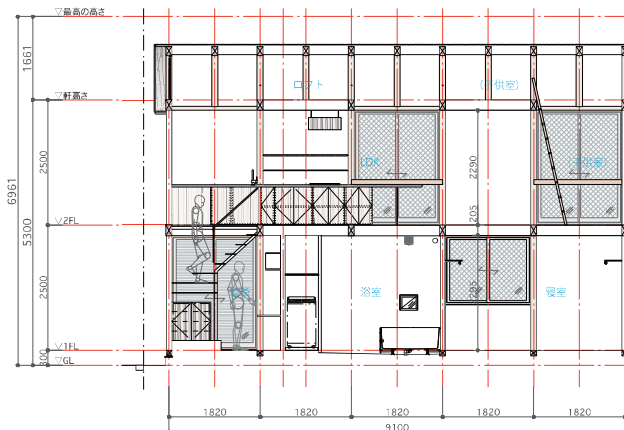
ダイアグラム



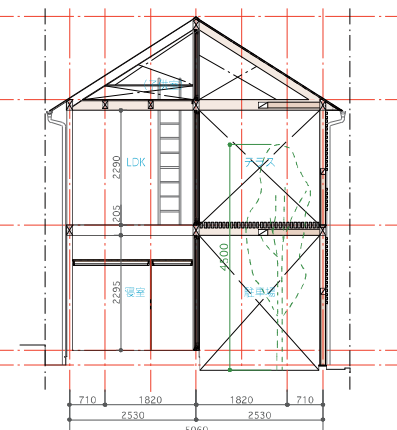
北側立面図 1/100



東側面図 1/100



AA断面図 1/100



BB断面図 1/100